

## 群馬県立 沼田女子高等学校

テーマ

▶ 授業内容の定着

目的

▶ 補習の代替



柳田先生（1学年主任／理科）

**―実際の取り組み―**  
 欠席した生徒の補習として活用するため、スタディサプリと授業の内容を連動させています。まず、私は担当している化学の動画をすべて視聴し、板書を写し取りました。実際の授業の板書に動画の板書と同じような記述を取

**―この取り組みをはじめたきっかけ―**  
 地域柄、ウインタースポーツが盛んで、冬季には運動部の生徒が大会出場などで登校できない期間があります。そのため、受けられなかった授業の穴埋めなどが大きな課題でしたが、スタディサプリの導入により、不在中の学習を補えるようになりました。授業に出席できなかった生徒には、「この動画を見て分らないところは質問を」という形をとり、各自で補習をしてもらっています。また、弊校はバスも電車もおよそ1時間に1本しかない地域にあります。遠方から通う生徒もいて、朝や放課後に揃って補習を行うことが難しい。その点、通学などの隙間時間に視聴できる動画は大変便利です。

長らく他校で教員としてソフトボール部の指導に注力し、近年群馬県立沼田女子高等学校へ赴任した柳田先生。学年主任としてスタディサプリの活用を促進しています。山あいの地域にあり、また部活動に力を入れている学校ならではの活用方法をお聞きしました。

**―先生の変化感―**  
 生徒に自学自習の習慣ができたことで、こちらも一対一で対応すべき生徒や、質問をしてくる生徒に割く時間と労力をしっかりと確保できるようになりました。教員の働き方改革ではありませんが、スタディサプリによって大変効率が良くなったと実感しています。

**―生徒の変化感―**  
 従来の授業や補習では、どうしても教師から生徒へ一方的に与える情報量が多くなります。それについて来られず、消化不良を起こしてしまう生徒もいました。また出席できない生徒、あるいは参加しているだけで頭に入っていない生徒も少なからず出てきます。ですが、今は個別に動画で補習し、自ら課題を見つけて力をつけていると感じます。分からないところを教師に質問して克服したり、よりレベルの高い問題に挑戦したりと、スタディサプリを通して各自が次にやるべきことを見つけられるようになってきたんですね。

り入れ、欠席した生徒が抵抗なくスタディサプリで補習をできるようにしています。約1年をかけてすべての動画を見ましたが、私自身、教え方の勉強にもなりました。動画では、解説と演習がセットになっています。私が部活動の指導をした際も、普段のトレーニングの成果を練習試合で確認し、またトレーニングをするという繰り返しでもっとも伸びました。そこで、授業でも同じように、講義と演習を組み合わせています。生徒がスタディサプリを視聴して補習をしていると、やはりそれぞれに分らないところが出てきます。その部分については改めて教師に質問できる時間と場所を設けています。1学年からスタディサプリを使った英語・数学・国語の平日補習をスタートし、生徒が自分で力をつけられる方針を学年全体で共有できるようにしました。それから2学年でも同様のスタイルを採用し、徐々に校内で広がってきています。今は平日と夏休みの補習にスタディサプリを活用していますが、冬休みや春休みにも広げたいと思っています。

### 実際の取り組み

下記2パターンにおける、補習の代替としてサプリを活用

【1】先生が事前に動画を確認し、内容に沿った授業を実施 ▶ 欠席者補習をサプリで代替

授業と動画で同じ学習が可能



先生が事前にスタディサプリの動画を視聴し、板書内容も含めて連動した授業を展開。そうすることで、授業に出席できなかった生徒も同じ動画を見て、授業に沿った学習ができる。

【2】補習でサプリを各々で活用 ▶ 課題克服をはじめ、生徒一人ひとりがやるべきことを自覚

自分に合った学習が可能



平日・夏季補習でも活用され、自らの課題発見や、より高いレベルの問題に挑戦するなど、生徒の自主性が高まった。また、学年全体で学習方針を共有することも可能になった。



群馬県立沼田女子高等学校  
 Numata Girls' High School



【学校情報】

1921年に沼田町立沼田実科高等女学校として創立し、これまで約2万名もの有為な人材を輩出し続けている利根・沼田地域の女子教育の伝統校。全日制の普通コースと英数コースが設置されており、各学年100～140名在籍。